



令和7年9月25日



鍋田ふ頭コンテナターミナルが CNP 認証に初認証されました

国土交通省港湾局では、コンテナターミナルの脱炭素化の取組を評価する認証（CNP 認証）の制度運用が令和7年度から開始されております。

この制度に対し、鍋田ふ頭コンテナターミナルの借受者である名古屋ユナイテッドコンテナターミナル(株)が申請したところ、本制度創設後初の認証をされることになりましたので、お知らせします。

同ターミナルの特色である電動化荷役機械の取組等が高く評価されたものとなっております。

また、10月6日（月）には、中部地方整備局にて認証書交付式が予定されており、申請者の名古屋ユナイテッドコンテナターミナル(株)とともに、共同取組者として、名古屋四日市国際港湾(株)、本組合も認証書を交付される予定です。

認証の概要につきましては、別添及び以下の国土交通省 HP をご参照ください
(URL: https://www.mlit.go.jp/report/press/kowan_news.html)

【お問合せ先】

政策企画部（次世代エネルギー推進担当）

担当：戸谷、水野

TEL：052-654-7958

名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナル

別 添



認証レベル

Level 3 + +

(認証日 令和7年9月25日)

CO₂排出量原単位

—

(算出に必要な一部情報が不足)

脱炭素化の取組主体

主な取組内容

名古屋ユニテッドコンテナターミナル株式会社

RTGの電動化、遠隔操作化

ヤード照明LED化

名古屋四日市国際港湾株式会社

インバータ制御方式のガントリークレーンの導入

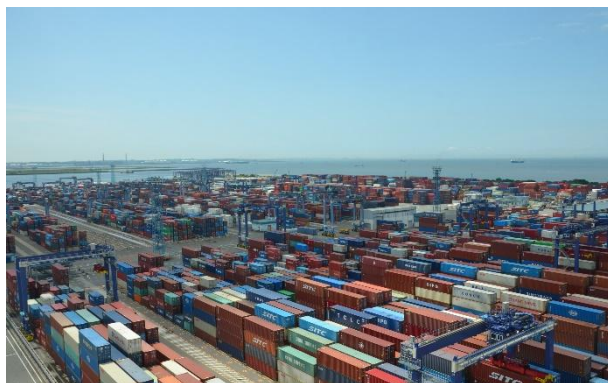
名古屋港管理組合

名古屋港港湾脱炭素化推進計画の作成

環境性能に優れた船舶へのインセンティブ制度の提供

[ターミナル概要]

名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナルは、中部圏の国際物流を支える拠点で、船舶の大型化、貨物の増大に対応できる高規格コンテナターミナルです。3バース一体運営で広大なヤードを備え、高性能ガントリークレーンや遠隔操作・電動RTGによる効率的で環境にやさしい荷役を実現しています。また、災害対応機能や高度な情報システムを整備し、安定したオペレーションを提供しており、輸出入貨物の円滑な流通を支え、地域産業と経済の発展に貢献しています。



遠隔操作・電動RTG



インバータ制御方式のガントリークレーンの導入
(T1岸壁に設置された新3号機)



名古屋港港湾脱炭素化推進協議会